

日本女性医学学会(旧:日本更年期医学会) 平成23年度事業報告

1. 会員動向

全会員数:1,809名(平成24年3月31日現在)／前年比+96名

2. 学術集会・ワークショップの開催

- ・第26回日本女性医学学会(旧:日本更年期医学会)学術集会
会期:平成23年11月12日(土)－13日(日)
会場:神戸国際会議場(兵庫県神戸市)
会長:苛原 稔(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部産婦人科学教室教授)
- ・第17回日本女性医学学会(旧:日本更年期医学会)ワークショップ
会期:平成24年2月5日(日)
会場:はまぎんヴィアマーレ
実行委員長:可世木 久幸(日本医科大学武蔵小杉病院産婦人科教授)

3. 学会誌刊行(編集委員会)

- ・19巻1号(Vol.19、No.1)発刊 :平成23年5月
- ・19巻2号(Vol.19、No.2)発刊 :平成23年11月
- ・19巻増刊号(Vol.19、suppl.)発刊 :平成23年10月／第26回学術集会抄録号
- ・学会名称変更に伴い、装丁・サイズ変更(第19巻1号より)

4. ニュースレター発行(編集委員会)

- ・Vol.17 No.1(平成23年5月)、Vol.17 No.2(平成23年9月)・Vol.17 No.3(平成24年1月)発行

5. 学会ホームページ(渉外広報委員会)

- ・学会名称変更に伴い、WEBサイトリニューアル(平成23年5月26日正式稼働)
- ・各種学会事業についての情報更新、更年期医療に関する情報掲載(文献アーカイブ等)

6. 学会賞、学術奨励賞、学会指定プログラム(学術研修委員会)

- ・学会賞:対象者なし
- ・学術奨励賞:第26回学術集会における一般演題7題より選考し、以下2名に決定。
伊東 雅子(藤田保健衛生大学医学部産婦人科)
平光 史朗(東京医科歯科大学周産・女性診療科)
- ・学会指定プログラム:第26回学術集会時に開催

7. JMWH Bayer Grant(学術研修委員会)

- [研究助成] 大石 元 (東京大学医学部産婦人科学教室)
寺内 公一(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生殖機能協関学)
平沢 晃 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室)

8. 学術調査研究事業(調査研究委員会)

- ・「女性の生活習慣と健康に関する疫学研究:全国ナースを対象にした大規模コホート研究; Japan Nurses' Health Study」(群馬大学医学部保健学科医療基礎学との共同研究)の継続
1) JNHS 追跡調査(2, 4, 6年後調査票の送付)
2) 調査対象者全員への JNHS ニュースレター送付
3) JNHS 関連委員会(運営委員会、疾病評価合同委員会など)の開催

9. 認定制度事業(認定制度委員会)

- ・平成 23 年度認定審査試験実施(平成 23 年 8 月 21 日) 受験者 63 名中 61 名合格。
- ・認定審査試験結果分析
- ・来年度認定審査試験ならびに更新に向けての準備

10. 2013 年 5th APMF 準備(APMF 組織委員会)

- ・5th APMF WEB サイト立上
- ・5th APMF 準備(主要プログラム検討)

11. 更年期医療ガイドブック関連事業(女性医療推進委員会)

- ・更年期医療ガイドブック改訂における内容の再検討と改訂に向けての準備
→平成 23 年度認定審査試験受験者に更年期医療ガイドブックに関するアンケート実施

12. HRT ガイドライン関連事業(女性医療推進委員会)

- ・HRT ガイドライン改訂に向けての準備
→2012 年改訂版(案)作成。第 26 回学術集會中にコンセンサスミーティングを開催

13. 医療保険改定(女性医療推進委員会)

- ・医療保険改定にむけて準備

14. 学会法人化(将来検討委員会)

- ・一般社団法人日本女性医学学会定款案作成。学会 WEB サイト上に掲載し、パブリックコメントを募集(平成 23 年 6 月 10 日～7 月 15 日)
- ・一般社団法人日本女性医学学会定款細則案作成。検討
- ・平成 24 年 4 月 1 日に登記。

15. その他

- ・世界メノポーズデーに伴うイベントの実施(平成 23 年 10 月 18 日～10 月 24 日)
- ・早発卵巣不全に関するガイドライン作成のため新委員会立上(早発卵巣不全委員会)